

在宅医療と介護の連携

—横須賀市の取り組み—



平成25年11月8日
横須賀市健康部
地域医療推進課

私の通勤コースから ①



横須賀港

私の通勤コースから ②

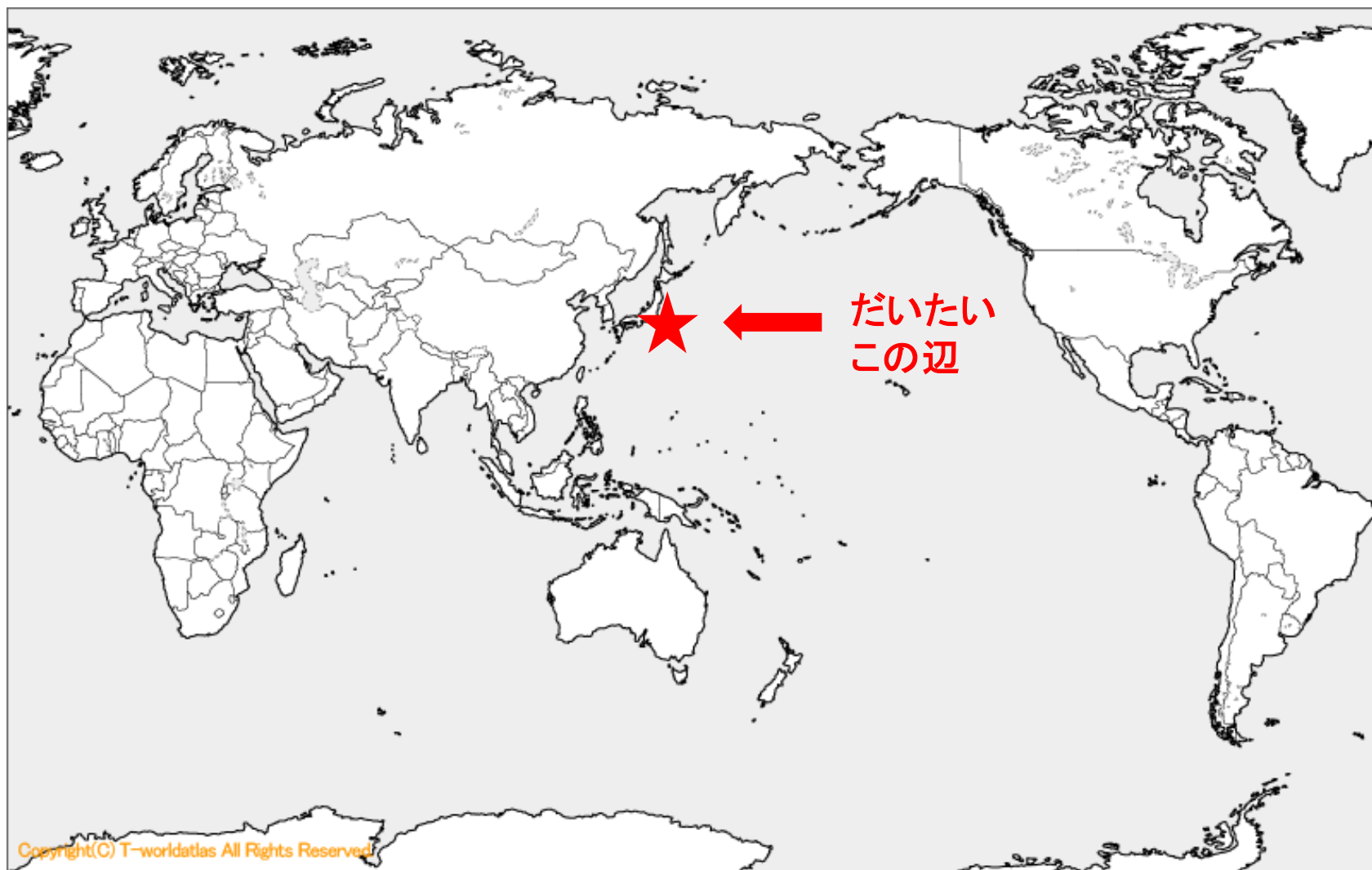


海上自衛隊 DDH(ヘリコプター搭載護衛艦) ひゅうが

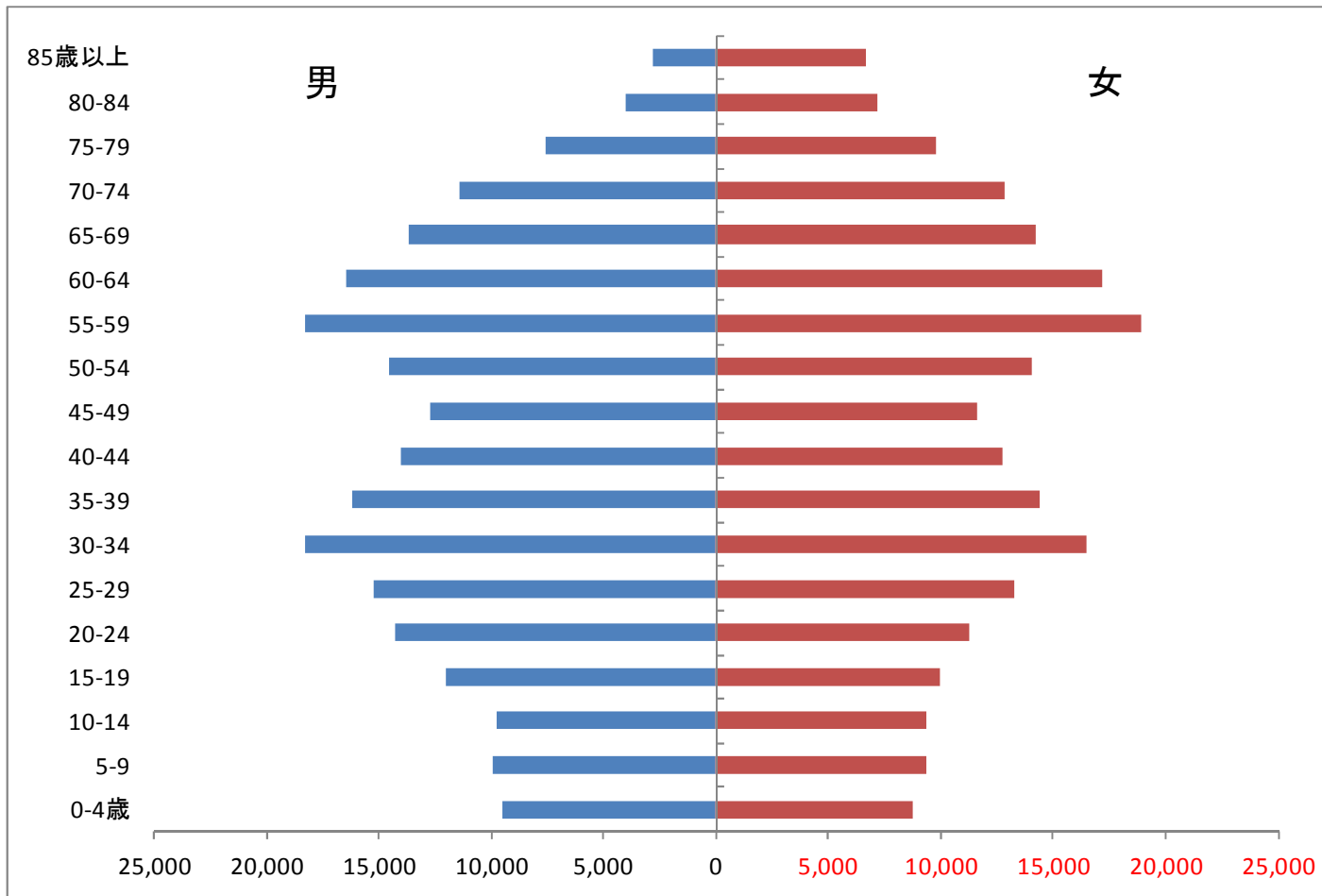
横須賀市の紹介

- 面積 約100km²
- 人口 約41万人(中核市、保健所設置市)
- 高齢化率 約26%
- 年間死亡者数 4,343人(病院で死亡した方の割合 67.3%)
- 市内の医療資源
 - 病院 13
 - 地域医療支援病院 3
 - DPC対象病院 4
 - 救命救急センター 2
 - 在宅医療支援病院 0
 - 在宅医療支援診療所 35
 - 地域包括支援センター 13

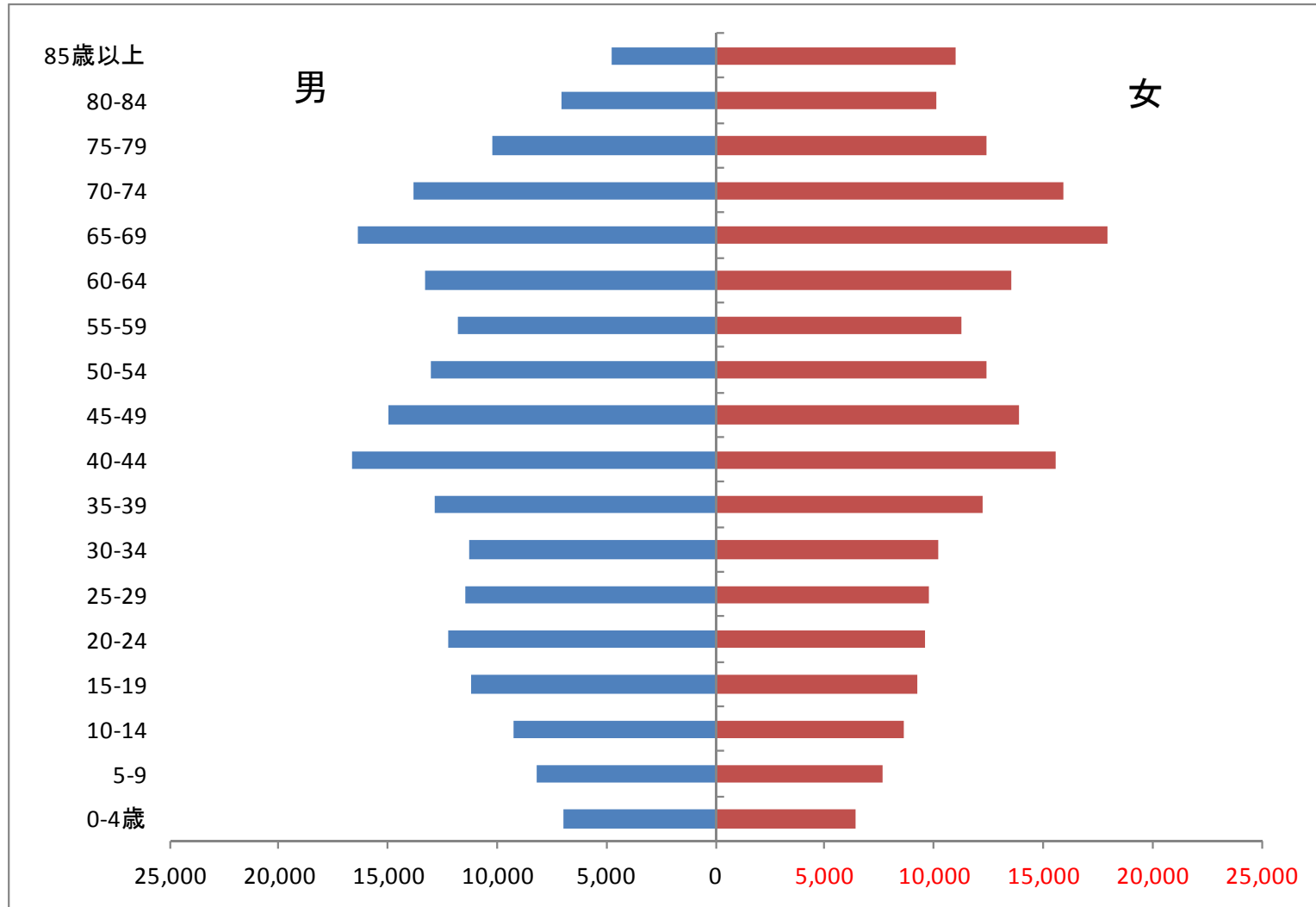
横須賀市の位置



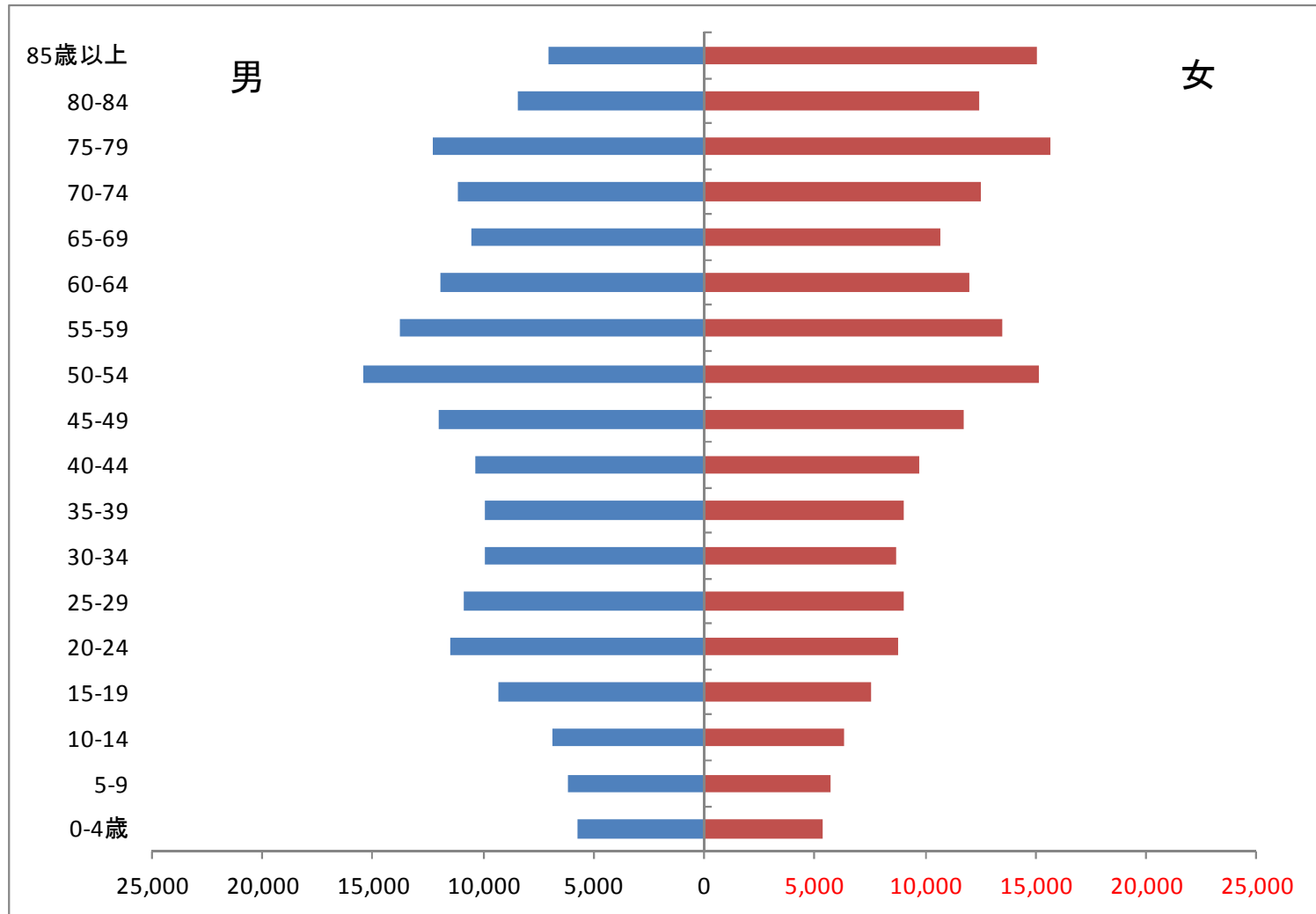
横須賀市の人口ピラミッド(2005年)



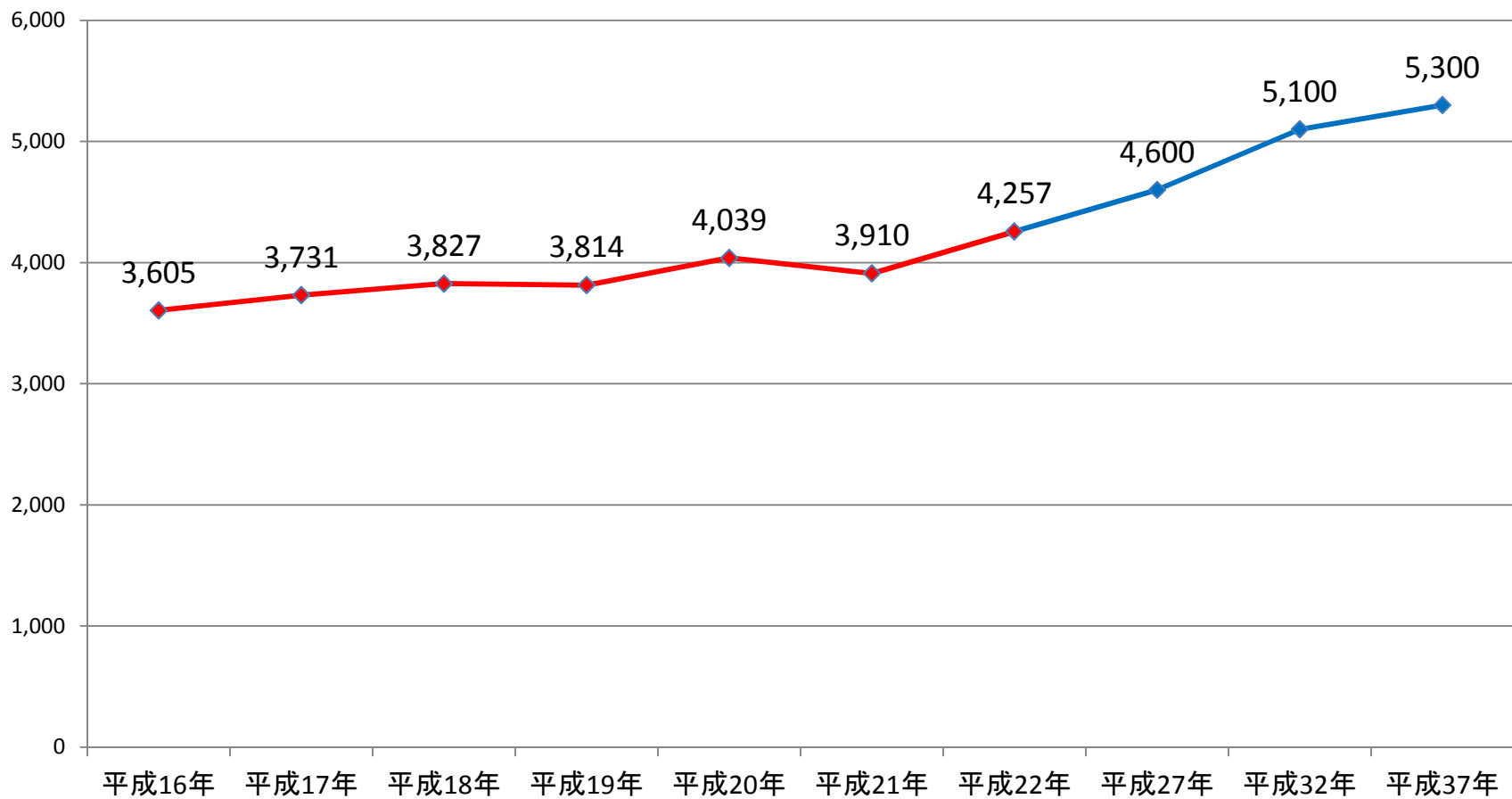
横須賀市の人口ピラミッド(2015年)



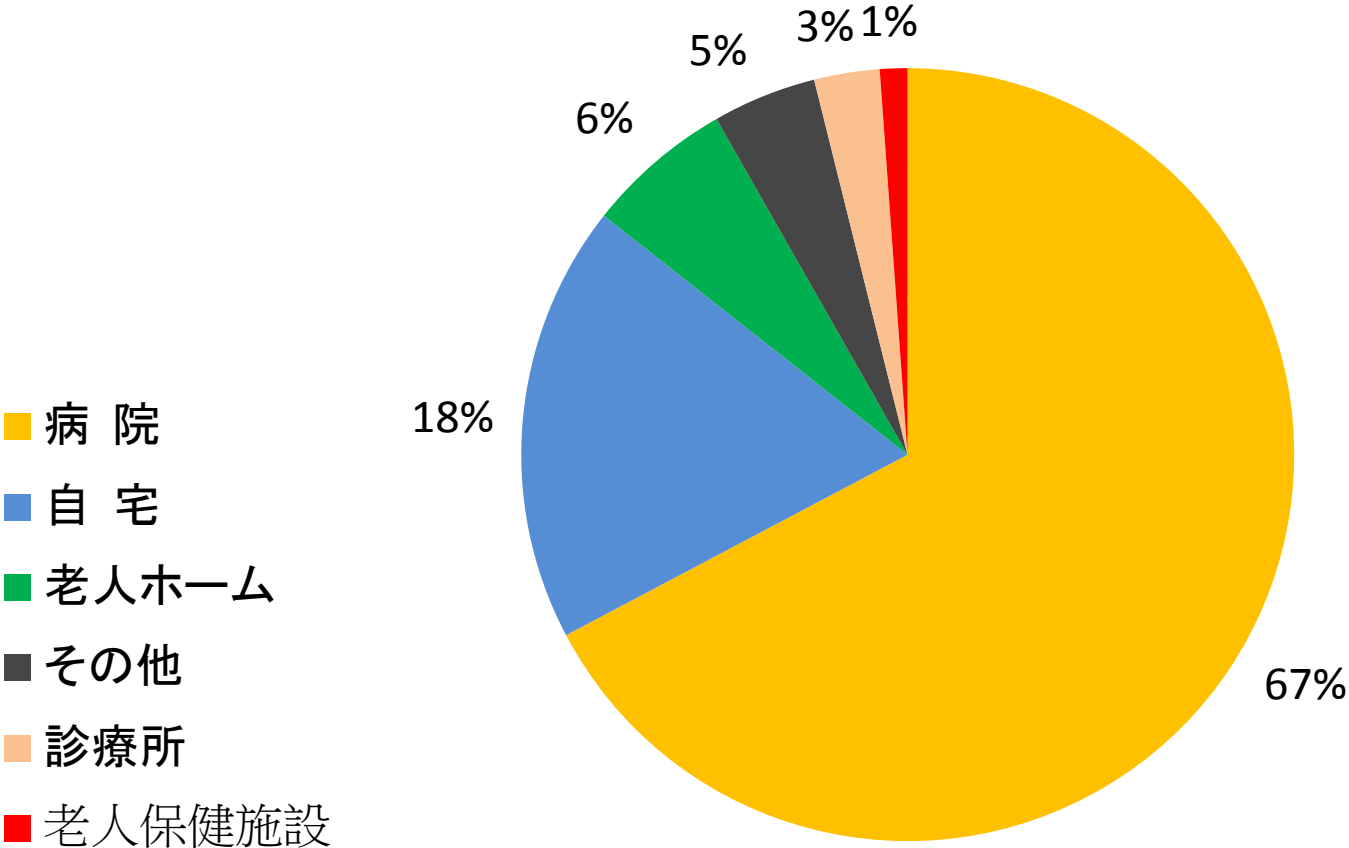
横須賀市の人口ピラミッド(2025年)



横須賀市の死亡数の推計



横須賀市の死亡場所の構成比（平成23年）



以上から予測されること

- 高齢化が進む。
- 死亡数が増加する。
- 7割弱の市民が病院で亡くなっている。
(病床数は増えない)



これまでどおり、病院で死亡することはいずれ困難になる。(すでに困難な季節も)



自宅や、施設での療養・看取りが増える。



平成22年度から、
在宅療養の体制づくりに着手

これまでの取り組み

平成22年度(準備)

- 医療・福祉関係者への働きかけ。

平成23年度(スタート)

- 顔が見える関係づくり(在宅療養連携会議の設置)
 - 医療関係者、福祉・介護関係者、市職員による会議
 - 課題の洗い出し、解決策の方向性
- 市民啓発(在宅療養シンポジウム)

平成24年度(推進)

- 在宅療養連携会議 専門部会の設置
 - 課題解決に向けた、解決策の検討・実施
- 顔が見える関係づくり(多職種合同研修会)
- 関係者のスキルアップ(セミナー等)
- 厚労省 在宅医療連携拠点事業者との連携

① 医療職・介護職の連携促進

在宅療養連携会議の開催

構成メンバー（16名）の内訳

- **医療関係者**（9）
医師会（2）、歯科医師会、薬剤師会、病院（3）
病院MSW、訪問看護
- **介護関係者**（4）
介護老人保健施設、ケアマネ、ヘルパー、
地域包括支援センター
- **市職員**（3）
福祉部 高齢福祉課・介護保険課、
健康部 地域医療推進課

② 市民啓発

- ・みんなで支える在宅療養シンポジウム

メイン講師

平成23年度 アルフォンス・デーケン氏

平成24年度 中村仁一氏

平成25年度 樋口恵子氏（平成26年1月13日）

- ・まちづくり市民出前トーク

人生の最期の迎え方（在宅療養、在宅看取りについて）
上手な医者のかかり方（「かかりつけ医を持とう」）

③ 人材育成

- ケアマネのための在宅療養セミナー
(福祉部 介護保険課の主催)

※平成24年度実施内容、()内は講師。

- 第1回 ケアマネージャーが医療で困ったら (医師)
- 第2回 高齢者と薬剤管理 (薬剤師)
- 第3回 退院前カンファレンスのための基礎知識 (医師他)
- 第4回 在宅歯科診療と口腔ケア (歯科医師)
- 第5回 がんの種類と進行 (医師)
- 第6回 高齢者に多い疾患と日常生活・ケアの留意点 (医師)

- 医師のための在宅療養セミナー

※平成24年度実施内容

「かかりつけ医と在宅医療の推進」

講師：東京大学特任教授 辻 哲夫 氏

④ ネットワークづくり

- 多職種合同研修会

※平成24年度実施テーマ

第1回 「在宅療養、何が課題？」

第2回 「退院時の在宅療養連携」

第3回 「横須賀市における在宅療養の将来」

第4回 「市民のための在宅医療・介護の見本市」

- 第1回～第3回は、テーマに沿った講演と、多職種のグループワーク＋名刺交換会。
- 第4回は、関係職種による、一般市民を対象とした「在宅医療・介護の見本市」

市民のための 在宅医療・介護の見本市

在宅医療・介護ってなんだろう？なんとなく遠い存在のように思うかもしれません。年齢を重ねたり、身体が不自由になったりしても自宅で安心して、すごすために必要なものです。様々な職種や団体が集まって在宅医療や介護をわかりやすく、イメージできるようにお知らせします！在宅医療・介護が身近に感じる見本市にぜひおこしください！

展示内容

☆在宅医療・介護職種ブース展示

様々な職種のスタッフが在宅医療に関してどのような取り組みをしているかを展示します。

〈ブース展示(予定)〉横須賀市、地域包括支援センター、医師会、歯科医師会、薬剤師会、訪問看護ステーション、ケアマネジャー、訪問介護、社会福祉協議会、特別養護老人ホーム、ソーシャルワーカー、おむつフィッター、有料老人ホーム相談、栄養士、訪問入浴、患者団体など

☆在宅関連事業・機器・物品展示

在宅医療・介護に関わる機器や物品を展示します。

〈ブース展示(予定)〉在宅酸素、在宅人工呼吸、在宅栄養、床ずれ予防器具、特殊寝台など

☆在宅療養相談コーナー

在宅療養に関わる相談コーナーを設置します。ご相談下さい



☆在宅医療・介護ミニレクチャー

在宅療養に関するテーマについて、20分程度のレクチャー形式で紹介します

- 12:30～「もしかして:認知症?きづきと初期の対応」
汐入メンタルクリニック院長 阿瀬川孝治さん
- 12:30～「介護保険でヘルパーは何が出来る?!」
あしたば訪問介護センター 片山小津絵さん
- 13:00～「お薬おもしろ話 ～薬剤師が家にやってきた～」
ヒロ薬局薬剤師 塚本久美さん
- 13:00～「これはケアマネさんに聞いてみよう!」
安浦倶楽部ケアマネジャー 玉井秀直さん
- 13:30～「高齢者における口腔ケアの重要性」
おおはし歯科医院院長 大橋伸一さん
- 13:30～「訪問看護師が家でできること」
よこすか訪問看護ステーション 桐ヶ谷明子さん
- 14:00～「施設見学で良い有料老人ホームを見分けるコツ」シニア
ホーム相談センター 笹川泰宏さん
- 14:00～「おうちでエーヨー」
県立福祉大学栄養学科教授 杉山みち子さん
- 14:30～「快適な排泄ケア 介護から快護へ、そして笑顔で!
～オムツの当て方、選び方～」
ミニむつき庵 森山ひろみさん
- 14:30～「退院の準備って、どうしたらいいの…!?!」
うわまち病院ソーシャルワーカー 福田恵子さん

3月23日(土)

正午から午後3時

☆会場

横須賀市立総合福祉会館 7階

(横須賀市本町2-1)

公共交通機関をご利用ください

よってらっしゅん!!
みてらっしゅん!!

入場無料

主催：横須賀市、横須賀市医師会、衣笠病院グループ
問い合わせ：地域医療推進課(横須賀市) 046(822)4332

在宅医療・介護の見本市



おむつフITTERのブース

これからの取り組み

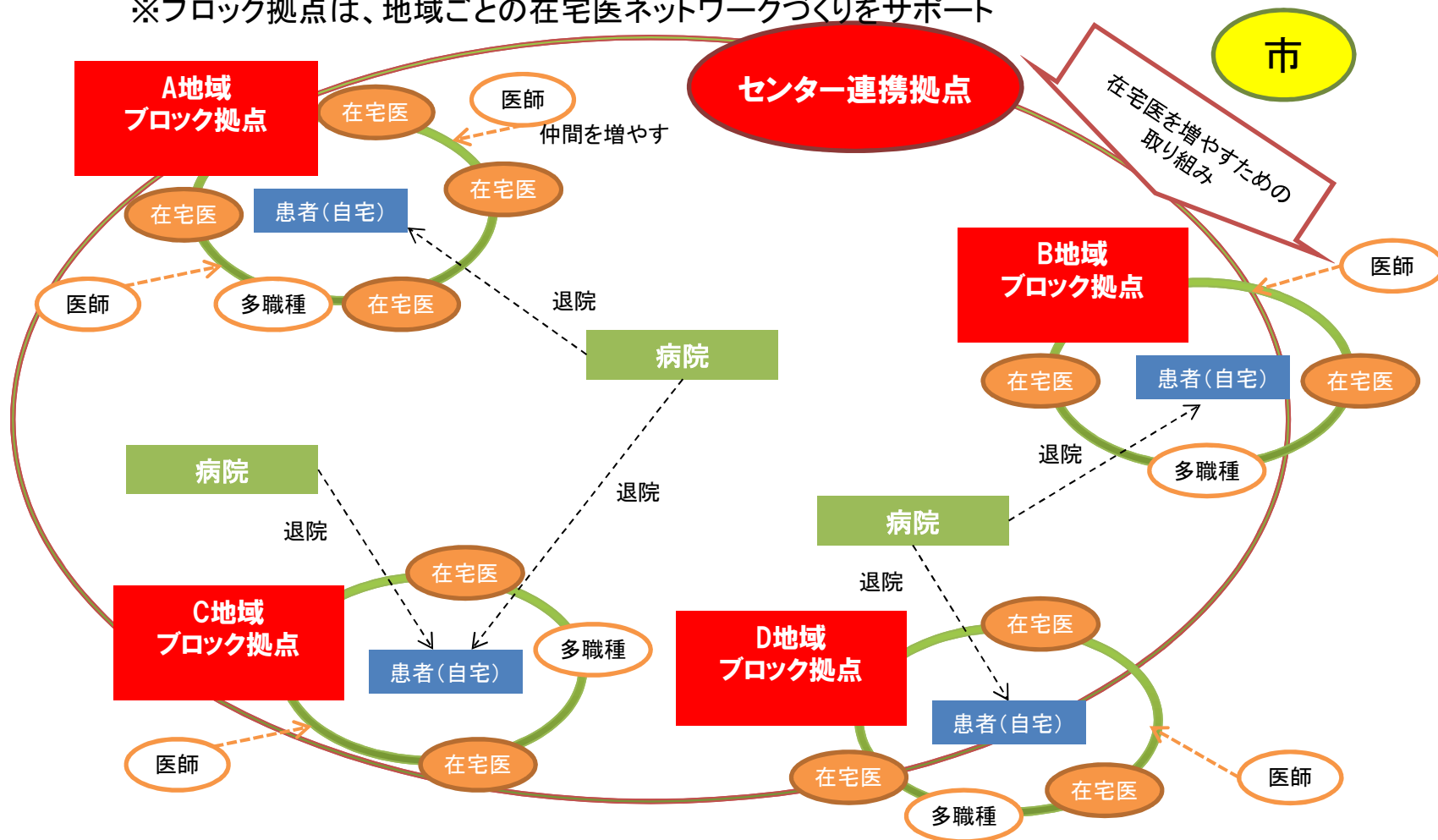
- 在宅医療ブロック会議の設置
 - ※市内を4ブロックに分け、在宅医を中心とした協力体制の構築
- 医師へのアプローチ
 - ※診療所医師→新たに在宅医療に取り組もうとする医師を支援する研修
 - ※病院勤務医→在宅医療を理解してもらう研修
- 退院前カンファレンスの標準化
- 在宅療養患者の情報共有（ICTの活用）
- 市民向け啓発冊子の発行

センター連携拠点・ブロック拠点のイメージ

※センター連携拠点

ブロック拠点間の連携や、全市的な研修事業などを担当

※ブロック拠点は、地域ごとの在宅医ネットワークづくりをサポート



今後の課題 ①

横須賀市の地域特性

- 高齢化の進展
（神奈川県内の他都市より進行が早い）
- 高齢独居世帯の増加
（独居高齢者の在宅看取り）
- 丘陵地の多い、独特の地形
（谷戸 「やと」）

私の通勤コースから ③



今後の課題 ②

事業継続のための財源確保

- 23年度：市の単独財源
- 24年度：在宅医療連携拠点事業者との協働
- 25・26年度：地域医療再生基金の手あげ
- 27年度以降

介護保険（地域支援事業）と聞いています。
（どんなメニュー？）

ご清聴、ありがとうございました。

